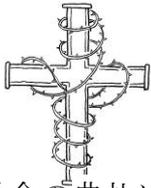


おとずれ

(発行者) 富士吉田カトリック教会
(住所) 〒403-0005
山梨県富士吉田市上吉田 3-5-7
(TEL&FAX) 0555-22-3199

2019年3月第439号

ホームページ <http://www.fgo.jp/~catholic/>



四旬節を迎えるにあたって

主任司祭 内藤 聡

教会の典礼は、3月6日の灰の水曜日から四旬節に入りますが、この四旬節はイエスが宣教生活に入られる前に砂漠で40日間断食をされたことになり、教会生活の伝統では断食、節制が行われてきました。

ラテン語のクワドラジェジマ (Quadragesim: 四旬節) の40という日数の象徴的原型は、まさにこのイエスの40日の体験にあるのです。40という数は、旧約の時代からすでに象徴的な意味をもっていました。キリスト者はキリストの断食と祈りに倣いたいという思いから自然にキリスト者の中におこってきたものです。

キリスト教国でない日本では、四旬節のはじめである灰の水曜日と主の受難(聖金曜日)を、大斎(たいさい)・小斎(しょうさい)の日と定めています。

大斎や小斎は、自分の心を神や人々にささげることのしるしです。四旬節にはことにその精神で生きたいものです。

灰の水曜日ではじまる四旬節の40日間(日曜日は数えない)は、1年の典礼の頂点である復活祭を目指しての準備期間です。四旬節は、「洗礼の準備と回心と罪の償い」という性格をもっています。教会は3世紀ごろから四旬節を洗礼準備の季節としてきました。この期間、洗礼志願者だけでなく、全教会の信徒たちが志願者たちのために祈り、また自分たちの洗礼の時を思い起こし、洗礼の約束を更新する準備をします。

教会は、この期間を、なによりも主イエスの受難と死を思い起こし、救いの「時」の中心に向かって、回心と償いの期間として過ごします。

この期間に、教会は、私たちの心が本当にどこに向かっているのかを問いかけ、自己中心から神と人々に向かう「心の転換」(回心)を呼びかけています。

灰の水曜日に行われる「灰の式」は、「土から出て土に帰っていく私たちが、四旬節の努めに励み、罪のゆるしを受けて新しいいのちを得、復活されたおん子の姿にあやかることができるように」願って、昨年枝の主日に祝福していただいた、棕櫚(しゅろ)やオリーブの枝を燃やした灰を司祭は一人ひとりの額にかける式が行われます。灰をうけた私たちは自分の力だけに頼るのではなく、何よりも回心を呼びかけておられる神に信頼して生きることができるようにも嘆願します。

今年も私たちは四旬節を過ごし、主の復活を迎えていきます。主の復活というのは、私たちキリスト教にとって最大の頂点でもあり、信仰の中心となるものです。しかし、毎年過ごしていると当たり前のようにお祝いして、あっという間に過ぎ去ってしまいます。

特にこの季節、いつも以上に神に心を向けて、私たちの救いのためにキリストが死んで復活されたことを思い起こし主の復活を迎えることができるように歩んで行きましょう。

長年、思い続けたカンボジアに行ってきました。（続き）

葉山 恵

翌日から、アンコールワットへ4日間の旅に出ました。大型のオフロードカーで彼の家族と私達、彼のお母さんも一緒です。赤ちゃん連れでおむつに、おもちゃに着替えに、大型クーラーボックスに水、飲料、食べ物と満載の荷物です。

異国の地で映画さながら、どこかでこんな映画を観たような感じです。これも日本では考えられないおもてなし。途中食事や休憩をするので6時間のドライブ。あちこちでローカルフードを次から次に買ってくれるお母さん。まるで、私の母の様です。私より2歳年上ですが、お互いの話が多少の英語で通じるので、私の方が驚きでした。田舎のレストランや、小さな売店の食べ物も私達だけだったら出来ない経験です。アンコールワットへ着きました。

翌日からアンコールワット遺跡群の観光です。ツアーで行くと時間の制限もあり全て回ることは困難。森の中から発見された遺跡の数々が廃墟になった大きすぎる寺院。映画にも使われた寺院は昔々のカンボジアの美しい栄華の時代を想像します。時代は巡り繁栄の時も終わりを告げるものですが、それを発掘して後世に残そうとする近代の文明も、近隣の日本やアメリカ、ヨーロッパの国々が支えていることにも感動しました。

アンコールワットの日の出も見てきました。彼の計画で、明日は五時にホテルを出発するよと言われて私達は申し訳ない思いで一杯でした。富士山でも、他でもあちこちで日の出は見ているので大丈夫と言いつつも、やはりアンコールワットの日の出はここだけの物。多くの外国人に交じって自分たちがここに立っていることの方が感動だった気がします。

観光の事はきりがなく、省きますが、現地の彼が居なかったら出来なかった事、全ての経験が何よりの宝です。

プノンペンで地獄のような暗黒時代の処刑場や華やかな王宮や国立博物館などすべてを見ましたが、まだまだアジアの中でもインフラや経済も遅れています。川沿いの高床式の家並みの暮らしや、すし詰めトラックで移動する繊維工場働く女性達・・・それでも仕事ができるようになったことが幸せだという。

首都であるプノンペンの道路の悪さと交通ルールのなさ！どこでも車は行きたい方に右折、左折して逆走バイクあり、リヤカーを引く人で驚きの事情。それでも、車が増えてトヨタの高級車をこんなに見た国もありません。国産車が無いのにこの車の数。携帯電話も非常に進んでいます。アイフォンもかなり普及してペイレス時代も日本より早くやっています。日本より銀行の数が少ない事もあるでしょう。1万円両替してみました。銀行も凄い警備と警戒でお札を裏、表と写真を撮られてサインをすところも多い。

私達は今の日本の経済や将来に不安も多いのですが、日々当たり前としている整備された生活環境、教育制度、保険、年金。安定した国家に生まれたことを再確認して有難いと思う旅でした。

私のプノンペンの家族は生まれ持った能力とたゆまぬ努力で恵まれた暮らしですが、夜学の青年に英語を教えることもライフワークの一つにしている大学時代から続けています。時が経ってもぶれない考え、教育が国を作ることを信じて、国の発展に夢を持ち彼は立派になりました。

仕事も休み、大事な会議のある時だけ出社していました。私達を彼の職場にも連れて行き、外国語学校も案内してくれました。ラオスの友達はじめ、彼の親戚までどれほどの人に会ったことでしょう。男性も女性も話し好きで、微笑みの国という印象です。多くを求めなければ、緑豊かで穏やかな暮らしがあります。しかし、便利な世の中になり、新たな格差も生まれています。

彼を通して色々な世界を見せてくれる事に心から感謝です。温厚篤実な彼は、私たちへの神様からの贈り物です。奇跡の出会いのカンボジアの家族の安寧を祈る毎日です。

こんにちは、こぴっとプロジェクトです

(山梨地区東北被災地支援プロジェクト)

○ボランティア行ってきました

- ・担当 : 甲府・塩山
- ・訪問地 : カリタス石巻ベース
- ・日程 : 12月3日(月)～6日(木)
- ・参加者 : 宮澤 由美 小沢 なをみ

『2018東北被災地支援 アニメーション上越と講演会』の開催について

日時 2019年3月9日(土) 13:30～15:50

会場 カトリック甲府教会 サントルチア講堂

アニメ 「無念」浪江町消防団物語

講師 浪江まち物語つたえ隊

皆さんの参加をお待ちしています。また、友人知人(一般の方々にも)へのお声かけもお願いします。

石巻だより

12月3日(月)～6日(木)まで、塩山教会の小沢なをみさんと、甲府教会の宮澤の二人で、石巻ベースにボランティアに行ってきた。

ベースの利用者さんは、今、クリスマスに向けて、フェルトを使ったオーナメント作りに余念がありません。可愛らしい飾りが壁に貼った大きなフェルトのモミの木に、たくさん飾られていました。(詳しくは、カリタスジャパン石巻ベースのブログをご覧ください。)

12月22日(土)午後1時から、石巻ベースで、クリスマス会が開かれるそうです。クリスマス会の際に、皆さんに召し上がっていただけるように、小沢さんのお知り合いの方をお願いして、マドレーヌを焼いてもらいました。きれいに包装して、先日石巻ベースに送らせていただきました。マドレーヌの材料・送料は、宮澤農園の収益金を使わせていただきました。

日頃から宮澤農園を利用して下さる多くの方々には、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。今後も、何らかのかたちで、みなさんと一緒に、石巻ベースを応援していきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

(甲府教会 宮澤 由美)

(こんにちは コピットプロジェクトより抜粋)

第 38 回横浜教区典礼研修会

東海林 美佐子

2月11日（月）藤沢教会で典礼研修会が行われました。今回はミサの前半、開祭とみことばについて充実した研修会になりました。後半感謝の典礼と閉祭は来年のテーマになるそうです。

ミサは、あずかるもの？ ささげるもの？ 参加するもの？

「ミサはどうやってできている？」

Q 主日のミサを共に捧げる上で、特に意識しておきたい場を4つあげるとすれば？

A 祭壇 朗読台 司式者の席 会衆の席

Q 主日のミサを4つの場面で表すと？

A 開祭 ことばの典礼 感謝の典礼 閉祭

- 1 開祭前の「沈黙」
- 2 入堂と入祭の歌：1つの目的で集まった会衆が1つの場を感じ、1つになるための歌
- 3 祭壇の表敬と会衆への挨拶：主と意識が1つになるため
- 4 回心の祈り：和解して心が一致する事が大事
- 5 あわれみの賛歌：いたらない私たちが回心し、今一度神様に向き合う祈り
- 6 栄光の賛歌：皆で心を合わせて賛美する事が大事
- 7 集会祈願：会衆に祈るように勧め、しばらく沈黙する

「ことばの典礼」神～人へ 人～神への応答

- 1 第1朗読：復活節以外は旧約聖書から福音朗読に合わせて選ばれる
第2朗読：主に使徒書から「準継続朗読」的に選ばれている
- 2 答唱詩編：第1朗読を味わうため、神に向かったの祈り
- 3 アレルヤ唱：福音を迎えるための祈り
- 4 福音朗読：ことばの典礼の頂点 ことばを見るのではなく、聴く事が大事
- 5 説教：主日のミサでは省くことができない。朗読されたみことばの内容
- 6 信仰宣言：語られたみことばを心に納めて自分の洗礼を思い出し心を込めて祈る（クレド）
- 7 共同祈願：すべての人の救いのため（心の叫び）に祈る

昨年富士吉田教会から藤沢教会へ異動された、森田神父にお会いして来ました。
お元気で沢山の信徒さんに会うことができ、とても嬉しそうでした。
吉田の教会の皆様にと絵本「えのでん タンコロ」を頂いて来ました。
教会の本棚に置きましたので、読みましょう！

教会委員会記録

2月3日 16名

1. 2月～3月の典礼（こよみ参照）
2. 新年度の活動担当者について
3. 2018年度の会計報告 資料は集会室の「信者会議事録」にファイリングしてありますので、ご覧ください。
4. 山梨地区宣教司牧委員会について
5. 新年会の案内
6. こびっとプロジェクト
7. その他
 - ・ 修繕工事は8月頃を予定
 - ・ 地区会の開催について
 - ・ 普段聖堂を訪れる方のため常設の献金箱設置
 - ・ 集会などの時、名札をつける

教会記録

◎籍起こし

- ・ 中田 英雄
- ・ Nguyen Thi Ca (グエン ティ カ)
- ・ 齋藤 Marialyn R. Magondacan

お知らせ

- ◎ 古切手、ベルマーク集めています。小集会室に箱が置いてありますので、ご協力お願いいたします。
- ◎ 「～信徒の重病、怪我、ご葬儀につきまして～」というパンフレットを作成いたしました。必要な方は、典礼まで声をかけてください。
- ◎ 「毎日のミサ」年間購読を希望される方は、3月3日までに江守宛申し込みください。

こよみ



3月

- 1日(金) 初金曜日ロザリオ10:00ミサ10:30
 3日(日) 年間第8主日 ミサ9:30 教会委員会
 (聖堂掃除は河口湖・都留地区)
 6日(水) 灰の水曜日ミサ10:00 (大斎・小斎)
 9日(土) 合同聖歌練習 甲府教会10:00
 東北被災地支援講演会 甲府教会13:30
 10日(日) 十字架の道行9:00 四旬節第1主日子供と共に捧げるミサ9:30
 洗礼志願式(宮本二郎さん・遠藤すみれさん)
 (聖堂掃除は日曜学校・河口湖・吉田地区)
 13日(水) 手芸会9:30
 16日(土) 小さき花幼稚園 卒園式
 17日(日) 十字架の道行9:00 四旬節第2主日国際ミサ9:30
 (聖堂掃除はインターナショナル・山中・忍野地区)
 19日(火) 聖ヨセフ(祭日)
 24日(日) 十字架の道行9:00 四旬節第3主日ミサ9:30
 (聖堂掃除は吉田地区)
 25日(月) 神のお告げ(祭日)
 31日(日) 十字架の道行9:00 四旬節第4主日ミサ9:30
 (聖堂掃除は有志)

イタリア語教室 月曜10時 4日・11日・18日・25日

日曜学校 ミサ後 10日

4月

- 5日(金) 初金曜日ロザリオ10:00ミサ10:30
 7日(日) 十字架の道行9:00四旬節第5主日ミサ9:30

日	先唱	聖体奉仕者	侍者	第1朗読	第2朗読	歌伴奏
3	東海林義夫	山本一孝	一雄	福永好雄	小松二三子	堀内千鶴
10	曾根美香	栗原今朝夫	天翔	相沢千代子		シスター
17	江守香代子	山本一孝	正人	英語	?	シスター
24	東海林美佐子	東海林義夫	一雄	栗原今朝夫	猪俣瞳子	シスター
31	東海林美佐子	栗原今朝夫	一雄	渡辺幹夫	江守香代子	シスター